

2015/3/10

弊社製コラーゲンペプチドの表皮への作用分子メカニズム解明に関する論文が国際誌 (Skin. Pharmacol. Physiol. 28(5):227-235) に掲載されました

論文タイトル： マウス皮膚におけるケラチンとケラチン関連タンパク質遺伝子の発現への食品由来コラーゲンペプチドの効果

弊社コラーゲンペプチドはPro-Hyp(アミノ酸のプロリンとヒドロキシプロリンが結合したジペプチド)を含有しています。

本論文では弊社製コラーゲンペプチドの角化細胞(皮膚表皮の細胞)への作用メカニズム解明を目的にして、①これをマウスに6週間経口投与した時の皮膚での遺伝子発現解析、②Pro-Hypを添加した皮膚線維芽細胞と角化細胞の共培養中の角化細胞における遺伝子発現解析を行いました。

その結果、①では表皮の発達とヘアサイクル(毛の周期)に関連する遺伝子群の発現が増加し、②では類似の遺伝子群の発現が増加しました。また、角化細胞のみでの培養の場合は、Pro-Hypによるこれら遺伝子群の発現増加が無かったことから、線維芽細胞の存在がPro-Hypの効果に本質的であることを示唆しています。

以上の結果は、コラーゲンペプチドの皮膚への効果に新たな洞察を提示します。そして、それはヘアサイクルにつながると推察されます。

詳しい内容に関しては <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/25721900> をご参照ください。